平成３０年２月２８日発行

沓掛小学校だより

3月号
NO. 587

未来を拓く ～元気・やさしさ・かがやく瞳～

http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou

次に繋げることは

校長　　師岡　孝明

２月も下旬になり日ごとに太陽の日差しが暖かく感じられるようになりました。校庭の周りの木々には新芽が芽生え、さわやかな春の訪れを告げているようで、気持ちも改まるような季節になりました。早くも明日は、３学期そして平成２９年度の最後の月、３月です。

同じ学級の仲間や先生方と一緒に勉強できる時間も少なくなってきました。１年生にとっては、国語・算数・図画工作・生活などのいろいろな勉強、校外学習・運動会・学芸会などの行事、何もかもが初めて体験する一年間でした。友達に励ましてもらったり、先生に褒めてもらったり、お家の人に認めてもらったりして、小さな成功体験を積み重ねながら、自分一人でできることをたくさん増やしてきました。褒められ、認められ、任されることで自分に自信が生まれ、信頼の眼差しで見つめられることに、安心して学校生活を送っている様子を頼もしく感じました。

小学生時代は、言葉の指示による学びよりも体験から学ぶことの方が多いということを実感したことと思います。先生・親・友達の言葉遣いや行動をよく見て、真似することから学んでいる姿を見掛けることが多くありました。まさに「学びは真似することから始まる。」のだと実感しました。１年生だけではなく他学年の児童も、仲間と共に様々な体験活動を通じて、心（気力）・体（体力）・頭（学力）をしっかり鍛え、着実に成長を続けています。明るく、元気よく、いつも頑張ってくれています。「元気　やさしさ　かがやく瞳」の目標に向けて、誰にとっても居心地のいい学校でなければなりません。残り一カ月、学級の仲間と共に悔いのない学校生活を送ってほしいと願っています。

これからは６年生の卒業に関連する準備・行事と新１年生を迎える準備が始まります。６年生の皆さんにとっては、小学校最後の月になります。これまで沓掛小学校の良き先輩として、良きリーダーとして学校行事や児童会活動などで後輩の皆さんを温かく見守り、いろいろと教え指導してくれました。中学校進学を前に、希望や不安が混在していると思います。そのような時期ではありますが、各自がこの沓掛小学校での輝きある思い出と学習をしっかりまとめていくよう願っています。

他の学年は一年間のまとめを行い、進級への準備を進める時期です。４月当初と今を比較すれば、新たにできるようになったことを含めたくさんの成長があります。年度の締めくくりの機会ですので、御家族の皆さんと一緒に数多くの成長を見付け、振り返ってほしいと願っています。そして、次年度に向けて思いを巡らせてください。

「継続は力なり」という言葉を御存知のことと思います。毎日の学校生活や家庭生活の中で、自分で考えて行動する、自らすすんで勉強や運動に一生懸命取り組むなど、当たり前のことが当たり前にできる人間になってほしいです。日々継続して積み重ねることの重要さを感じつつ、自分の目標達成のために前を向きしっかりと実行してほしいと願っています。

最後になりましたが、この一年間多くの方々の御協力をいただきました。ＰＴＡ役員の皆様をはじめとするＰＴＡ会員の皆様、学校運営協議会委員の皆様、学校支援本部の皆様、地域町内会の皆様、様々な行事等でお手伝いいただきました皆様方。皆さまの御支援がありまして、本校の教育活動が推進できましたことを深く心より御礼申し上げます。